秘

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日（　　）

**事 例 研 究 会**　　　　　　　　　　　記入者名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　校 | | 小　中　県 | 学　年 | 年 | 年　齢 | | 才 | | 性 | | 男・女 | | |
| 家族構成 | |  | | | | | | | | | | | |
| 主  訴 |  | | | | | | | | | | | | |
| 家  庭  の  状  況 |  | | | | | | | | | | | | |
| ○幼児期からの発達状況 (既往症　他） | | | | | | | | | | | | | |
| ○学習状況・諸検査の記録等 | | | | | 出  席状  況 | 欠席 | 日 | 遅刻 | | 日 | | 早退 | 日 |
| 備考 | | | | | | | |
| ○性格・行動・交友関係等 | | | | | | | | | | | | | |
| ○経過(本人の動きと援助・指導 ） | | | | | | | | | | | | | |
| ○検討してほしいこと | | | | | | | | | | | | | |
|

記入例 秘

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日（　　）

**事 例 研 究 会**　　　　　　　　　記入者名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　校 | | 小　中　県 | 学　年 | ○　年 | 年　齢 | | ○　才 | | 性 | | 男 ・ 女 | | |
| 家族構成 | | 父、母、本人、祖父、祖母 | | | | | | | | | | | |
| 主  訴 | 朝になるとおなかが痛くなる。  　教室で授業を受けるのが怖い。  　人の目が気になる。 | | | | | | | | | | | | |
| 家  庭  の  状  況 | 父親は仕事が忙しく、子どものことは一切母親に任せきりである。  （過去に単身赴任２回あり）  母親は、本人を厳しく育ててきた。教室に入れないのは、本人に我慢が足りないからだ、と思っている。 | | | | | | | | | | | | |
| ○幼児期からの発達状況 (既往症　他）  喘息（小学校低学年まで） | | | | | | | | | | | | | |
| ○学習状況・諸検査の記録等  例）成績　中の上，　数学（算数）が得意 | | | | | 出  席状  況 | 欠席 | １０日 | 遅刻 | | ０ 日 | | 早退 | ０ 日 |
| 備考　 ○月○日現在 | | | | | | | |
| ○性格・行動・交友関係等  おとなしく、口数は少ない。何事もきちんとやらないと気が済まないところがある。クラスには特定の友人が数名いて、保健室で休んでいるときに様子を見に来る。そのときには笑顔で話す様子が見られる。 | | | | | | | | | | | | | |
| ○経過(本人の動きと援助・指導 ）  ７月に入った頃から、腹痛を訴え授業中に保健室に行くことが多くなってきた。  病院も受診したが、どこも悪くないと言われたので、薬は服用していない。担任との面談の中では、「授業中におなかが鳴ってしまうのではないか、と気になってしまうことが多い。クラスの人が、休み時間に自分のことを笑っているのではないか、と感じることもあり、友人に聞いてみたが、そういう事実はない、と言われた。」と話している。それまでは皆勤であったが、現在欠席日数１０日である。  　休みが目立ち始めてすぐに家庭訪問をした。本人は行くと部屋から出てきて一緒に話すことができる。比較的落ち着いてはいるが、「学校へ行かなければと思うと、朝おなかが痛くなり行けない。」と話している。教室で授業を受けることに不安を感じている様子である。母親はがんばらせたいと思っているが、思うようにいかず、苛立ちを感じている。  　保健室では養護教諭が対応しているが、なるべく本人が落ち着いて過ごせるように配慮している。 | | | | | | | | | | | | | |
| ○検討してほしいこと  ・今後、学校でどのように支援を行っていったらよいか。  ・甘えと捉えている母親の思いを受け止めながら、どのように連携を図っていったら　　　よいか。 | | | | | | | | | | | | | |
|